

国語－１２（第３学年） 関心のある事柄について批評する文章を書く事例（書くこと）
【学習活動の概要】

1 単元名	高等学校のパンフレットを批評する文章を書こう～資料を引用して書く～											
2 単元の目標	高等学校のパンフレットの中の事柄について、適切な資料を引用しながら自分の考えを伝える説得力のある批評の文章を書くことができる。											
3 評価規準	<p>【国語への関心・意欲・態度】 高等学校のパンフレットの中の事柄について、自分の考えを明確にして批評する文章を書こうとしている。</p> <p>【書く能力】 自分の考えや評価の根拠となる適切な資料を引用して、説得力のある批評の文章を書いている。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 和語・漢語・外来語などの使い分けや言葉のニュアンスを知り、適切な語句を選択している。</p>											
4 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の学校紹介パンフレット（複数校分用意する） ・デザインやレイアウトに関する資料（初心者がリーフレットやパンフレットなどを作成するための入門書） 											
5 主な学習活動	(1)単元の展開（全５時間）											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 1108 462 1164"></th> <th data-bbox="462 1108 941 1164">学習活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="255 1176 351 1276">第１～ ２時</td> <td data-bbox="359 1176 941 1276">学習の見通しをもち、複数の高等学校のパンフレットの中から、自分が批評するものを決める。 他の高等学校のパンフレットや「デザインやレイアウトに関する資料」を根拠にして批評の観点を決め、自分の考えをまとめる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1288 351 1377">第３時 (本時)</td> <td data-bbox="359 1288 941 1377">設定した観点に沿って、自分の考えをよりよく伝える文章の構成を考える。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1388 351 1478">第４時</td> <td data-bbox="359 1388 941 1478">資料を適切に引用しながら、高等学校のパンフレットを批評する文章を書くとともに、書いた文章を読み直し、文章全体を整える。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1489 351 1668">第５時</td> <td data-bbox="359 1489 941 1668">書いた文章を読み合い、論理の展開や資料の引用の仕方などについて評価し、自分のものの見方や考え方を深める。 ※いくつかの作品を高等学校の広報課に送付する。</td> </tr> </tbody> </table>		学習活動	第１～ ２時	学習の見通しをもち、複数の高等学校のパンフレットの中から、自分が批評するものを決める。 他の高等学校のパンフレットや「デザインやレイアウトに関する資料」を根拠にして批評の観点を決め、自分の考えをまとめる。	第３時 (本時)	設定した観点に沿って、自分の考えをよりよく伝える文章の構成を考える。	第４時	資料を適切に引用しながら、高等学校のパンフレットを批評する文章を書くとともに、書いた文章を読み直し、文章全体を整える。	第５時	書いた文章を読み合い、論理の展開や資料の引用の仕方などについて評価し、自分のものの見方や考え方を深める。 ※いくつかの作品を高等学校の広報課に送付する。	<p>言語活動に関する指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○批評とは、対象とする事柄のよさや特徴、価値を論じたり評価したりすることであると定義を説明する。 ○完成した批評の文章は、高等学校の広報担当に送付することを確認し、相手意識を明確にもたせる。 ○引用のルールを指導する際には、著作権の問題に留意させる。
	学習活動											
第１～ ２時	学習の見通しをもち、複数の高等学校のパンフレットの中から、自分が批評するものを決める。 他の高等学校のパンフレットや「デザインやレイアウトに関する資料」を根拠にして批評の観点を決め、自分の考えをまとめる。											
第３時 (本時)	設定した観点に沿って、自分の考えをよりよく伝える文章の構成を考える。											
第４時	資料を適切に引用しながら、高等学校のパンフレットを批評する文章を書くとともに、書いた文章を読み直し、文章全体を整える。											
第５時	書いた文章を読み合い、論理の展開や資料の引用の仕方などについて評価し、自分のものの見方や考え方を深める。 ※いくつかの作品を高等学校の広報課に送付する。											
(2)本時の学習（３／５時間）	<ol style="list-style-type: none"> ① 前時までの学習を想起させ、自分の考えとそれを裏付ける根拠（パンフレットを比較して分かったことや資料からの引用部分）との関係を確認する。 ② 文章の論理の展開の仕方について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・初めに自分の考えを述べ、それを裏付ける事実を示す書き方 ・具体的な事実から一般化し、自分の考えの正当性、妥当性を示す書き方 など ③ いくつかの構成の中から、自分の考えがよりよく伝わるものを考える。 											

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

本事例では、中学校学習指導要領・国語の第3学年「書くこと」の指導事項「イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。」を指導する。「説得力のある文章を書く」ためには、客観性や信頼性の高い資料を自分の考えの根拠として選んで用いることが重要である。また、「適切に引用する」ためには、自分の考えの根拠としてふさわしいかどうかについて検討したり、引用部分を明らかにした上で、資料が伝えたいことと自分の考えの関係について補足したりすることが重要である。また、著作権を尊重し保護することの大切さについても確認する。

さらに、関連する内容として、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「(1)イ(イ) 慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること。」を位置付ける。高等学校のパンフレットには、意図的に「和語・漢語・外来語」の使い分けが見られるものがある。これらの使い分けを考えさせたり、引用しながら評価をさせたりすることにより、微妙な言葉のニュアンスについて知り、語感を磨くよう指導する。

【言語活動の充実の工夫】

上述の内容を効果的に指導するために、言語活動を設定する。第3学年の「書くこと」の言語活動例は、次の2つであり、本事例では、アの言語活動例を具体化した。

- ア 関心のある事柄について批評する文章を書くこと。
- イ 目的に応じて様々な文章などを集め、工夫して編集すること。

批評とは、対象とする事柄のよさや特徴、価値を論じたり評価したりすることである。指導においては、視野の広さをもたせるために、関連する事柄や背景などに興味をもたせることが大切である。

「高等学校の学校紹介パンフレット」は、主として中学校3年生の生徒とその保護者とを読み手として想定している。高等学校の特長が様々な表現の仕方を用いて紹介されている。

本単元では、このような「高等学校の学校紹介パンフレット」の特徴を生かし、説得力のある批評の文章を書くために、次のような指導の工夫を行う。

- ① 自分が批評の対象とするパンフレットと他の高等学校のパンフレットを比較し、考えをより明確にさせる。

<助言の例> 部活動紹介では、「監督からのメッセージだけが書かれているもの」と、「キャプテンからのメッセージも併せて書かれているもの」があるね。読んだ時の印象は、どのように違うのだろうか。内容や述べ方を比べて考えてみよう。

- ② 根拠として、「デザインやレイアウトに関する資料」を参考にすることで考えを深めさせたり、資料を適切に引用することで説得力のある文章を書かせたりする。

<助言の例> このページは、思わず目をひかれたけれど、資料を読むと「アイキャッチャー」という手法が使われていることが分かる。資料のこの部分を引用して、表現のよさを述べてみよう。

なお、本事例は、第3学年「読むこと」の指導事項「ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。」の指導との密接な関連を図ることが効果的である。

生徒による批評のコメントの例

よさ、特徴	効果
○ 部活動のページでは、大会での実績だけでなく、顧問の先生が指導しているシーンの写真が使われていて、メッセージが添えられている。	○ A高校が顧問の先生の指導力に自身がある。中学生が読むとこの先生に教わりたいという気持ちになる。
○ A高校では、部員が並んだ写真ではなく、普段の練習の様子の写真が使われている。顧問の先生が自分が担当する部活動を紹介している。ポリシーなど。	○ 「この人に教わりたい」という気持ちにさせる工夫。
○ 中学校の部活動紹介とは違って、どんな風に教えているのかが書かれている。	○ 自分が教えられているところをイメージしやすい。
○ A高校のパンフレットには、学科の紹介だけでなく進路先や就職先まで具体的に書いてある。	○ 高校を卒業した後の自分がイメージできるようにしている部分が良い。
○ A高校の先輩からのメッセージには、「どんな理由で入学したのか」「入学してみてどうだったのか」の二つが書いてある。	○ パンフレットを読む私たちは、先輩たちが「入学した理由」が書いてある方が自分と重ねることができ、中学生は引き込まれやすい。
○ B高校の説明には、「そして」「また」などの接続語が多い。A高校は、キーワードを示して、そのあとに説明している。	○ A高校の方がインパクトは強い。B高校は説明の文章が長すぎる。
○ A高校の学校行事の写真は、中学校にないものが大きく取り上げられている。	○ 中学校までとは違う体験ができるワクワクさせる効果がある。「可能性へと進化する」という言葉があるので、自分が伸ばせそうに思う良さがある。